

高圧ガス事故等調査報告書 (災害)

1. 高圧ガスに係る事故等 2. 参考事故		報告年月日 : 年 月 日 (曜日)		整理番号 :			
事故分類: A B 1 B 2 C 1 C 2		報告書作成者 :		報告段階 : 中間(第 次)、確報			
事故の呼称				別 添 : 有 無			
発 生 日 時		年 月 日 (曜日) 時 分(24時間制)		届出の根拠規定 1. 法第63条第1項 2. 法第36条第2項			
気 象		天気 温度 ℃ 湿度 % 風向 風速 m/s		法令区分: 一般則、LP則、冷凍則、コンビ則 [認定事業所:有(認定施設、非認定施設) 無] ・第一種製造者 ・第二種製造者(処理能力:30m ³ 未満、30m ³ 以上)			
事故発生場所	区 分	1. 事業所内事故 2. 事業所外事故		コンビナート地区名: 1. 鹿島 2. 千葉 3. 川崎・横浜 4. 四日市 5. 堺・泉北 6. 水島 7. 岩国・大竹 8. 周南 9. 新居浜 10. 大分 11. その他 ()			
	事故発生場所	所在地 : 名称 : 電話 ()		業 種: 1. 石油精製 2. 貯蔵基地 3. 石油化学 (エチレンセンターを含む) 4. 一般化学 (肥料又は合成繊維を含む) 5. 製鉄所 6. 鉄工所 7. 機械 8. 電気 9. 自動車 10. 食品 11. 紙・パルプ 12. 窯業 13. 建設 14. 運送 15. その他 ()			
	連絡者氏名	(所属) 電話 ()					
規制対象別	1. 製造事業所 2. 冷凍事業所 3. 充填所 4. スタンド 5. 販売所 6. 貯蔵所 7. 導管 8. 移動 { 自動車 { タンクローリ 鉄 道 { 枠組み(カードル) 船 舶 { バラ積み						
	9. 消費先 10. 特定高圧ガス消費者 11. 容器検査所 12. その他 () 事業所規模 (処理能力・貯蔵量)						
事故発生事象	事 象	事象が1つの場合 1. 爆発 2. 火災 3. 噴出・漏えい 4. 破裂・破損等 5. その他 ()					
		事象が2つの場合 1次事象 () → 2次事象 () ※ () に番号を記入 1. 爆発 2. 火災 3. 噴出・漏えい 4. 破裂・破損等 5. 反応暴走 6. その他 ()					
	噴出・漏えいの詳細	(1) 噴出・漏えいの程度 1. 微量 (石けん水等を塗布した場合、気泡が発生する程度) 2. 微量以外 (m ³ 又はkg) 3. 不明 4. 調査中 (2) 噴出・漏えいの部位 1. 母材(材質:) 2. 溶接部(材質:) 3. ろう付け部(材質:) 4. 締結部 5. 開閉部 6. 可動シール部 7. その他 () (3) 噴出・漏えい部位の寸法 1. 径 () 2. 板厚 () 3. 呼び圧力 () (4) 噴出・漏えいの分類 噴出・漏えい① 1. 腐食(内面、外面) 2. 疲労(振動、温度変動、圧力変動) 3. エロージョン/コロージョン 4. 応力腐食割れ 5. クリープ 6. その他 () 噴出・漏えい② 1. 締結部(フランジ式継手、ねじ込み式継手、フレア式継手、ホース継手) 2. 開閉部 (バルブ、コック) 3. 可動シール部 (メカニカルシール、 スィベルジョイント、その他 ()) 噴出・漏えい③ 1. 誤開閉 2. 開閉忘れ 3. 液封、外部衝撃などによる破裂、破損、変形 4. ドレン抜きミス 5. 点火ミス、失火、逆火等 6. その他 ()					
		取 扱 状 態	1. 平日 2. 休日 3. 事業所休日 1. 製造中 (a. 定常運転、b. スタートアップ、c. シャットダウン、d. エマージェンシーシャットダウン、e. その他) 2. 貯蔵中 3. 停止中 (a. 検査・点検中、b. 工事中、c. 休止中、d. その他 ()) 4. 荷役中 5. 消費中 6. 移動中 7. その他 ()				
1. 自 社	2. 関係事業所		所在地:	備 考			
事故の概要 (事故に至る経緯を含む)							
ガスの種類及び名称 1. 可燃性ガス : 1. アセチレン 2. エチレン 3. 液化石油ガス 4. 塩化ビニル 5. 水 素 6. ブタン 7. プロパン 8. プロピレン 9. メタン 10. その他 () 2. 毒性ガス : 1. 亜硫酸ガス 2. 塩素 3. その他 () 3. 可燃性毒性ガス : 1. アンモニア 2. 一酸化炭素 3. クロルメチル 4. 酸化エチレン 5. シアン化水素 6. 硫化水素 7. その他 () 4. 支燃性ガス : 1. 空 気 2. 酸素 3. その他 () 5. 不活性ガス : 1. アルゴン 2. 炭酸ガス 3. 窒素 4. ヘリウム 5. フルオロカーボン ((可燃性ガス又は毒性ガスを除く。)種類) 6. その他 () 6. そ の 他 : 1. 混合ガス () 2. エアゾール () 3. 特殊高圧ガス () 4. その他 ()							
ガスの状態	1. 液相	2. 気相	1. 常圧	2. 加圧	1. 低 温	2. 常 温 (5℃~35℃)	3. 高 温
製造設備等の概要	名称:	消費設備等の概要		容器の容量及び	ガス	kg(m ³)×	本
	能力:			容器本数:	ガス	kg(m ³)×	本
	容量:				ガス	kg(m ³)×	本
	稼働率: %			容器と火気との距離:			m
	ガスの状態: 常用圧力	MPa	常用温度	℃	逆火防止器の有無:	有	無

物的被害

		建造物、機器類等の名称	距離(m)	被害の内容	損害額(千円)	備考
事業所内	当事者					
	第三者					
事業所外	当事者					
	第三者					
合計						

人的被害、物的被害 以外の事業所外への 影響	1. 住民避難（ 人 時間程度） 2. 事業所外へのガス流出、飛散物（ ） 3. その他（ ）
------------------------------	---

許認可関係	保安検査	行政措置
届出： 年 月 日 許可： 年 月 日 完成検査： 年 月 日 直近の変更許可： 年 月 日 直近の完成検査： 年 月 日	定期自主検査： 年 月 日 保安検査： 年 月 日	使用停止命令： 年 月 日 使用停止命令解除： 年 月 日 操業再開： 年 月 日 改善命令： 年 月 日 関係条項：
官公庁で講じた措置及び対策		事業所側で講じた措置及び対策
地域防災協議会及びコンビナート防災協議会の活動状況		法令違反の有無： 有 無 （条項： ） 内容：
官公庁で出した通知文書、新聞等の写し、図面、写真、所見等 所見： 別紙（ ） 別紙（ ）		
同一事業所で過去1年以内に発生した事故（C1級以上の事故） 年 月 日		

※記載にあたっては、別添「高圧ガス事故等調査報告書（災害）記載要領」を参照のこと。